

NTTとパナソニックが両社の画像認識技術を活かした セキュリティソリューションを共同開発

日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:澤田純、以下NTT)とパナソニック株式会社(本社:大阪府門真市、代表取締役社長:津賀一宏、以下パナソニック)は、お客様に安心・安全を提供できるセキュリティソリューションとして、「リアルタイム人物トラッキング」を共同で開発しました。2018年度中に両社にて順次発売予定です。

【背景】

昨今、発生している犯罪・事件から国民の安心・安全に対する意識は高まっており、監視カメラの需要も年々増加しています。また、監視カメラ映像を解析する性能も更なる向上を求められています。今回、両社で開発したセキュリティソリューションは、パナソニックがカメラ・映像機器メーカーとして公共・商業施設などで永らく培ってきた監視映像技術や顔認識技術と、NTTが持つディープラーニングの高速処理技術や広域ネットワークを組み合わせることで、広域で大規模な範囲かつ精度が高い監視セキュリティを実現するものです。

今後両社は、高精度な認識技術を核としてセキュリティ市場にサービス・ソリューションを拡大し、社会の安心・安全に貢献して参ります。

【ソリューション概要】

両社が持つ人物・特徴・物体などの認識技術を組み合わせることで、ターゲット(不審者、迷子、VIPなど)を検知できるシーンが大幅に拡大します。従来の顔認識に加え、顔以外の人物特徴を活用した認識へと拡張することで、例えば、顔が不鮮明な画像や後ろ姿のみ映っている画像からターゲットの検知、追尾が可能となります。さらに複数拠点に設置されたカメラ間でまたいで同一人物をリアルタイムに追尾することで、カメラ監視の範囲を広げることが可能となります。これらにより、映像モニタリング要員が不足傾向にある商業施設やオフィスビル、空港、駅などの数十台から数百台規模の大量のカメラにまたがる監視・警備業務において、従来よりも迅速かつ効率的にターゲット人物へ対処できます。

【主な特長】

1. 自動でのリアルタイム検出・追尾により、迅速な現場対応を支援
監視カメラのライブ映像や録画映像からいつ、だれが、どこにいたか追跡します。移動するターゲット人物をリアルタイムで追跡しながら、現場でのオペレーションを支援します。
2. 目視による見逃しリスク、警備人員不足を解消
多数のカメラを用いた監視業務では、目視による見逃しのリスクを低減し、映像モニタリングを行う要員を減らすことができます。
3. 広域で大規模な範囲をカバー
広域ネットワークと分散処理技術を活かすことで、複数のビルにまたがる大規模な監視カメラソリューションを実現することができます。

【リアルタイム人物トラッキングの概要説明図】



【展示会等への出展について】

NTTグループの事業会社であるNTTコミュニケーションズ株式会社は、2018年10月4日から10月5日までザ・プリンス パークタワー東京で開催する「NTT Communications Forum 2018」において、「リアルタイム人物トラッキング」のデモを出展予定です。NTTコミュニケーションズは、商業施設や自治体、警察などへの防犯向けに、本技術を活用した映像解析ソリューション「Takumi Eyes」を提供していきます。

パナソニックは、2018年10月10日から10月12日まで、東京ビッグサイトにて開催される「危機管理産業展（RISCON TOKYO）」にて「リアルタイム人物トラッキング」のコンセプトをご紹介します。パナソニックブースでは「リアルタイム人物トラッキング」の展示をはじめ、「映像で魅せる!～「簡単」・「快適」・「確実」なパナソニックのセキュリティ商材～」をテーマに、「安心安全」を実現するセキュリティソリューションや防災ICTソリューションを紹介します。

【お問い合わせ先】

日本電信電話株式会社 広報室
TEL:03-5205-5550

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 広報部
TEL:06-6910-1237

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。